

シンポジウム | シンポジウム | [シンポジウム1] 口腔内の老化を基礎から知る

シンポジウム1

口腔内の老化を基礎から知る

座長：

金澤 学（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 口腔デジタルプロセス学分野）

黒嶋 伸一郎（長崎大学 生命医科学域（歯学系） 口腔インプラント学分野）

Sat. Jun 17, 2023 8:45 AM - 9:45 AM 第2会場 (3階 G303)

企画：学術委員会

【金澤 学先生 略歴】

2002年 東京医科歯科大学歯学部卒業

2006年 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 全部床義歯補綴学分野 修了〔博士（歯学）〕

東京医科歯科大学 歯学部附属病院 義歯外来 医員

2008年 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 助教

2013年-2014年 マギル大学 客員教授

2020年 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 講師

2021年 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 口腔デジタルプロセス学分野 教授

【黒嶋 伸一郎先生 略歴】

2002年 北海道大学歯学部歯学科 卒業

2005年 日本学術振興会特別研究員

2006年 北海道大学大学院歯学研究科博士課程 修了〔博士（歯学）〕

2006年～2011年 北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座高齢者歯科学教室 助教

2010年～2012年 ミシガン大学歯学部生体材料科学講座補綴科 客員助教・リサーチフェロー

2012年～2014年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野 助教

2014年～2018年 長崎大学病院口腔顎顔面インプラントセンター 講師

2018年～現在 長崎大学生命医科学域（歯学系）口腔インプラント学分野 准教授

[SY1-1]薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）を知ろう

○黒嶋 伸一郎¹ (1. 長崎大学 生命医科学域（歯学系） 口腔インプラント学分野)

【略歴】

2002年：北海道大学歯学部歯学科 卒業

2005年：日本学術振興会特別研究員

2006年：北海道大学大学院歯学研究科博士課程 修了〔博士（歯学）〕

2006年～2011年：北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座高齢者歯科学教室 助教

2010年～2012年：ミシガン大学歯学部生体材料科学講座補綴科 客員助教・リサーチフェロー

2012年～2018年：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔インプラント学分野 助教→講師昇任

2018年～現在：長崎大学生命医科学域（歯学系）口腔インプラント学分野 准教授

【抄録（Abstract）】

わが国では約1,600万人の骨粗鬆症患者がおり、年間100万人ががんに罹患するが、骨粗鬆症や一部のがんに対しては、ビスホスホネート製剤やデノスマブを総称した骨吸収抑制薬が治療に用いられることが多い。一方、薬剤関連顎骨壊死（Medication-related Osteonecrosis of the Jaw：MRONJ）は、骨吸収抑制薬を使用している患者の一部において、抜歯（約60%）、インプラント治療（4%）、歯周疾患（5%）、さまざまな外科手術

（7%）、不適合義歯を含む補綴歯科治療（7%）、ならびに自然発症（15%）などをきっかけに発症する薬剤の副作用であり、歯科医療に従事する歯科医師や関係者にとって頭の痛い問題となっている。また、高齢者であることや、高齢者で多く使われる特定の薬剤（抗がん剤と副腎皮質ステロイド製剤）の使用などはMRONJのハイリ

スクファクターとなっており、高齢者が急増しているわが国では、今後も MRONJを発症する患者が増加していくことが見込まれている。

MRONJの発現頻度は高額のお宝くじに当たる確率と同じように極めて低いが、いったん発症すると患者の QOLやお口の QOLを著しく低下させ、顔貌の変形などから社会生活にも大きな影響を与える場合や、経口摂取が困難となる場合もある。また、近年では、施設入所者でも MRONJが散見されるようになってきたことから、私たちには MRONJに関する正しい情報を知っておくことが求められている。

一方、演者は現在まで先駆的に MRONJの基礎研究を展開し、複数の MRONJモデル動物や、それらを治癒させる MRONJレスキューモデル動物を作製することで、「どうして MRONJは起こるのか」、「治療法はないのか」などについて解析を進めている。

本講演では、明日から臨床現場で使える MRONJの臨床的情報を分かりやすくご提供するとともに、演者が行っている MRONJの基礎研究について紹介する。